

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
お得意様には、お健やかに平成23年の新春を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。
平素は漢方の繁栄にひとかたならぬご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。



世界的には生物多様性条約において国際協定「名古屋議定書」では、遺伝資源の取得と利益配分ルールが定められ、環境保護と限りある資源と利益の有り方などについても検討がされています。

中国では昨年、上海万博があったこともあり、急速に変わりゆく都市部の風景が幾度となくテレビで放映されました。経済の発展はインフラ整備を進め、国民の生活水準を向上させ、海外進出の勢いにも目を見張るものがあります。

一方、中国の国内事情は、世界最多の人口を抱え、人権や経済の急成長による波紋が尖閣諸島やノーベル賞受賞問題へと波及しているように思えます。

人口13億のうち7割が農村に住むといわれる中国では、三農問題といわれる所得格差などの要因により農村部から沿岸都市への人口移動が年々増加し、農家で生産される輸入生薬においても供給量や価格面で少なからず影響が出始めています。

また、日本における生薬の生産状況は、ここ数十年の間に安価な輸入生薬に押され、耕地面積は半減し、加工方法やノウハウも失われつつあります。ごく最近まで兵庫県では丹波黄連、奈良県では貝母や牡丹皮の生産が行なわれていました。

弊社はこれら一連の流れを鑑み、国産生薬においては計画栽培に着手し、栽培技術の保存や種苗管理への取り組み、輸入生薬においては自然保護の見地から、野生品から栽培品の転換に必要な技術の現地投入などに取り組んでいます。

また、天産物に携わる企業の一員として安全性や品質保証などの意識強化に尽力をそそぎ、これからの高齢化社会に役立て、後世に漢方を残し伝えていくことが弊社の責務と自覚しております。

昨年末は漢方薬の原料となる生薬の価格高騰についてマスコミに取り上げられ、生薬事情を一部公開させて頂きました。これからも広く意見を求め、具体的な方向性を見極め、官民それぞれの力を合わせて漢方薬業界の発展を望む所存ですので、ご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

結びに、お得意様の今後の益々のご活躍と健康をお祈りしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

(株)栢本天海堂
代表取締役 栢本和男

2011年生薬市場の展望

§ はじめに

2009年中盤から中国生薬の輸出価格が高騰しはじめ、2010年の生薬相場は過去に例をみない値上りになりました。この背景には色々な要素がありますが一番注目すべきは医療制度の改革による中国国内需要の増大であります。都市部の労働者だけが医療保険の対象であったものが6年位前から徐々に児童や農村部に拡大し、今は全国民の殆どが医療保険の適用を受けるようになり、中国国内における中成薬原料の生薬需要が高まり、投機的買い占めも起こり市場在庫が急激に減少した事が主因と思われます。

§ 中国産生薬高騰の背景

I. 人件費の上昇

昨年、新聞を賑わしている様に自動車関連などでストが多発し、中国国内の人件費が上昇しております。弊社の中国合弁会社の女子作業員の人件費においても周辺の工場の人件費に引きずられ、前年初期と比べ約60%の上昇となっております。中国経済を支えてきた低賃金・労働集約型経済の終焉がうかがえます。

II. 中国農村部の人口減少及び高齢化

中国経済の高度成長にともない、所得差により農村部から都市部（沿岸部）に労働力が吸収され、農村部の人口が減少し、農村部においては女子と老人が農業生産の主流になっています。これは日本の高度成長期にも同様の現象が起こっており、日本の生薬生産の減少へと繋がっています。

III. 資源の枯渇・環境保全

「甘草」「蒼朮」「和白朮」「防風」など野生資源に依存している生薬は資源の枯渇が著明で、全国、省単位などで採集規制や輸出制限が行われています。一部栽培化も徐々に進んでいますが、これらの品目はまだまだ野生品種の依存度が高く、価格上昇は避けられないのが現状であります。

IV. 都市部と農村部の所得格差是正政策

都市部と農村部の所得格差は社会的問題として政治不満が高まっており、中国政府はその是正の為に米など主要農産物の価格を引き上げる政策を行っています。過去の計画経済では生産調整などは容易でありましたが、社会主義市場経済では自由に、より利益の多い農産物に転作されます。多くの生薬は多年生である為に生産者は価格変動、生産量のリスクを嫌う傾向が強くなり、生薬の生産を維持、増産するには通常の穀類、野菜などの農産物より生産者の利益を高める必要があります。生薬の価格上昇は避けられないのが現状であります。

V. 中国国内における中成薬需要の拡大

中国保健制度の改革において医療保険の対象となる医薬品は国家基本薬物目録に定めてあり、第一部は西洋薬、第二部は中成薬、第三部は中薬飲片（生薬）が記載されています。基層医療衛生機構（規模の小さな病院、診療所など）では、この国家基本薬物目録に定められた品目しか使用出来ない事になっています。

VI. 人民元の切り上げ

アメリカ等の貿易摩擦による人民元切り上げ要求により、徐々に人民元は切り上がり、この事が生薬価格の上昇の一因にもなっています。更なる人民元切り上げ要求も強く、近い将来さらに人民元は上昇し生薬価格にも大きく影響すると考えられます。

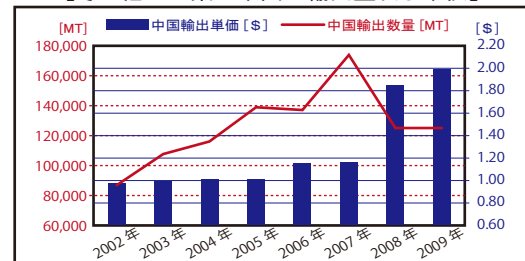
VII. 投機目的の買占め

中国政府の金融緩和政策によって、2008年のリーマン・ショック後においても中国経済は順調な伸びを示し、潤沢な資金が不動産などの価格を引き上げ、一部の生薬も投機的商品の対象となり、これも生薬の価格上昇の一因になっています。

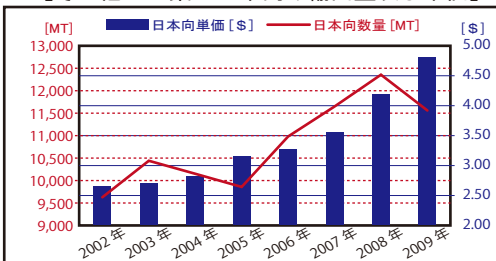
§ 中国産生薬市場の年次中国輸出動向

中国国家统计局が発表している2002年～2009年の生薬輸出統計を示します。輸出統計の商品コードはHS条約によって決められており、国際的に取引の多い品目（甘草・桂皮・麻黄など）は個別の識別コードを持つが、多くの生薬（柴胡・防風など）は「その他」に分類されています。

【その他の生薬の中国全輸出量及び単価】

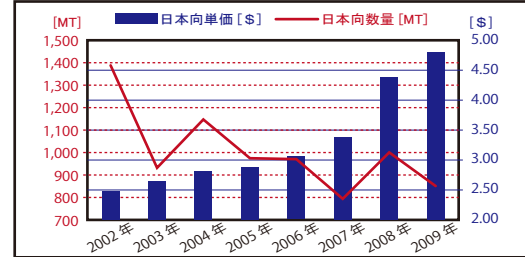


【その他の生薬の日本向け輸出量及び単価】

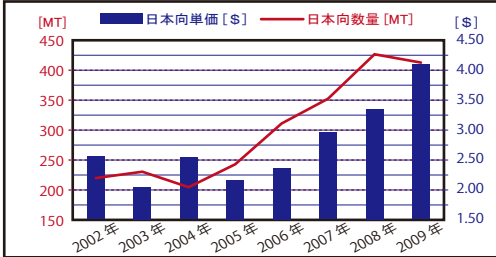


以下は野生生薬の日本向け中国輸出統計で、価格は1級品から規格外の平均です。

【甘草】



【大 黄】



【半 夏】



【白 朮】



2008年から価格が急上昇し、中国の輸出量は減少しており、日本向けも同傾向が見受けられます。日本向けの輸出量は全輸出量の9.2%（2009年）に過ぎません。

§ 2011年生薬市場の動向

2010年の価格上昇は過去に例をみない変化で、2010年産の全生薬が2009年以上の値上がりをしております。この現在の中国における生薬価格が中国の経済発展、経済状況において妥当な水準か、どうかの判断は非常に難しい状況です。それでも安定供給を確保するにはこの高値でも契約せざるをえませんが輸入原生薬の価格が現在設定されている生薬薬価よりも高い品目が増えており、一部の医療用生薬においては薬価内価格での販売が困難になる事が予想されます。また高品質の原料生薬で生産していた医療用生薬もグレードを下げて生産する事も検討しなければならなくなります。

§ 株式会社 枳本天海堂の取り組み

*甘草などの野生品種の栽培化



環境問題、資源枯渇問題で象徴的な品目である「甘草」に関しては1999年から商業栽培を開始し、現在年間10～20MTの栽培甘草を生産しております。この栽培甘草は中国西北部の黄土高原で栽培年数6年以上かけて生産し、日本薬局方にも適合しております。ただ生産コストが野生品種より割高の為、調剤用生薬としては商品化をしておりませんが、野生甘草の供給不安に対処できる体制は準備しております。

*国内生薬栽培の推進



漢方生薬の80%近くは中国に依存しており、最近話題になっていますレアアース問題の様に生薬原料を中国一国に依存していると、輸出国の状況によっては生薬の供給不足が起る事も考えられます。過去においては多くの生薬が国内で生産されていた事を踏まえ、弊社では京都府の福知山にて自社薬園を設置し、直接管理の生薬栽培を行っております。

この薬園の主な目的は、国内生産を増やすために栽培希望者に優良種苗を安定的に供給する事と栽培指導を行うモデル栽培地の設置であります。

*中国産生薬の安定確保

1995年、中国に合弁会社「天恵保健品有限公司」を設立し、生薬の生産地から直接買付も行い良品質の生薬購入を行っております。また不足分を補完する意味でも中国大手の生薬供給会社とも親密な関係を維持しており、生薬確保には万全の体制で取組んでおります。

（株）枳本天海堂
原料部 姜 東孝